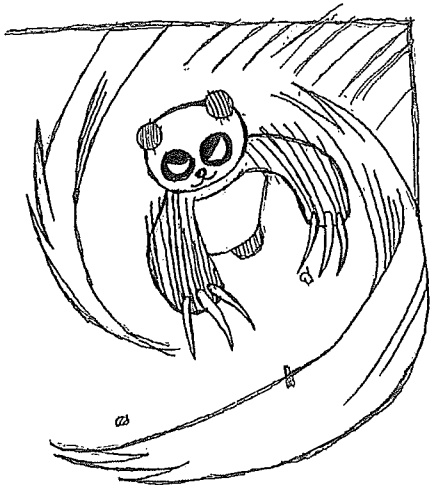


旅立ち

社会福祉法人しらとり会
利用者通信 (NO. 88)
令和5(2023)年1月4日発行

今月は、5名の方からの投稿です。



僕のコンサート日記

- ①太田裕美 1976年に初めてコンサートを観に行ったのが太田裕美。
浜田市民会館で観ました。木綿のハンカチーフ、しあわせ未満、DOLLなど、
素敵な人でした。
- ②渡辺真知子 1984年。大阪厚生年金ホールだったかな。
唇よ熱く君を語れ、かもめが翔んだ日などを観に行きました。同志社大学の親
友T君と行きました。もうメンタルがやられてました。
- ③U2 1987年?ヨシャア・トリーツアーTOKYO DOME
ボノを観た。With or Without you. 一緒に行ったのはHさん。

(Y.Y.)



- 利用者の生活を見捨てて職員の生活を重要視する。
- 職員だけが生活があって利用者は生活がかかってないらしい。
- 職員のほうが利用者よりも心身の健康状態はいい。
- 心身の健康状態が職員よりも悪い利用者が法人の活動をして無報酬とはいかがなものか？
- 民法では契約していなくても労働実態があれば報酬の支払い義務がある。
- 無報酬が当たり前なら広島国際大学の教員や学生をはじめ福祉学者が無報酬で職員をするのなら筋が通る。
- 無報酬が続きいつまでも気持ちが維持出来るほど人間はきれいな生き物ではなく人間関係悪化。

(加藤忠男)

【投稿の募集】

読んでいただいた方からのご感想をお寄せください。また、利用者の皆様からの投稿をお待ちしています。

次回の締切は、1月16日(月)です。

『旅立ち』編集委員：加藤、本川、A.-Z.、H.A.